

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート  
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 6 日  
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成	施策 主管課	教育委員会 生涯学習課
	施策No.	22	施策名	青少年の健全育成	施策主管 課長名	村松直樹
施策関連課名						

1 施策の目的

<p>① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等</p> <p>青少年(12歳~20歳と定義) 市民</p> <p>対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標</p>	<p>② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)</p> <p>大きな夢を持ち、その夢に向かい一生懸命生きる。 健全に育つ。(非行に走らない。) 大人から目を向けられる。 地域が一体となり健全育成のための環境が整備される。</p> <p>意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標</p>
---	---

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値 区分	基本計画 現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
① 対象 指標	ア 青少年数	人	見込み値			7,213	7,189	7,164	7,139	7,115
			実績値	7,262	7,220	7,103	7,088	7,023	6,917	
	イ 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602	
	ウ		見込み値							
			実績値							
② まち づくり 指標	A 家庭や地域ぐるみの青少年教育に関する市民の満足度	%	目標値			28.0	30.0	32.0	34.0	36.0
			実績値	26.5	23.7	24.3	22.8	30.4	28.8	
	B 青少年の補導件数	人	目標値			404	398	392	386	380
			実績値	415	331	313	412	283	135	
	C		目標値							
			実績値							
	D		目標値							
			実績値							
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		<p>A: 青少年の健全育成に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行われていると感じますか』において、「感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合】</p> <p>B: 青少年の非行・犯罪防止対策の効果を示す。 【南アルプス警察署が把握している補導件数】</p>								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		<p>A: 現行値から5年間で約10%の増加を目標に設定 B: H27年からH37年までに10~19歳人口は18%減ると想定されている(H27:7,796人、H37:6,388人)ことから、子供たちの人口減少を勘案してH36年度340人、中間年は380人を目標とする。</p>								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
関連事業本数	21	21	14	14	14	11	11	
関連事業予算額(単位:千円)	19,303	18,924	19,047	18,882	18,784	17,428	17,267	
(予算額の 内訳)	国庫支出金	235	194	207	223	231	0	0
	県支出金	235	194	207	223	231	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,833	18,536	18,633	18,436	18,322	17,428	17,267

#### 4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>指標Aの満足度については、前年度比で、1.6ポイントの減であったが、指標Bの補導件数においては、前年実績をさらに半減以上下回り、135件であった。</p> <p>よって、プラス・マイナスを相殺して、目標どおりとする。</p>
<p>② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>指標Aの満足度については、目標値の下で乱高下しており、要因を把握できないが、指標Bの補導件数の減少傾向については、市民会議が中心となり、青少年育成推進員をはじめ各種関係団体に呼びかけ、市内一斉あいさつ運動や青少年の健全育成を目的とした広報紙の配布、季節ごとの回覧など広報活動を積極的に実施していることへの認知度が上がった結果と思われる。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>市民会議による市内環境巡回調査や各支部事業による愛のパトロール等の実施のほか市内一斉あいさつ運動を展開し、年々参加者は増加している。また警察や関係機関と連携しながら青少年の指導にあたっている。その成果として、指標Bの補導件数が前年対比で、県合計が4,914件から4,402件と10.4%の減少に対し、南アルプス署管内の減少比率は、52.3%と非常に高いためである。</p>

#### 5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
<p>青少年育成市民会議の活動が支部により多少偏りがある。 (前年度からの継続課題)</p>	<p>昨年度までの青少年育成コーディネーターは、週3日の5人で勤務を行っていた。5人がそれぞれの地区を担当していたため、個性により偏りが生じていたようである。</p> <p>今年度から人数は3名にしたものの、ほぼ常勤体制で、1人当たり2地区を担当している。</p> <p>また、青少年育成コーディネーターと青少年担当が、毎週定例打合せを行い、情報共有を図りながら、市民会議各支部の活動の均衡化と充実を図っていく。</p>
<p>スマートフォンなど情報機器の普及や多様化に伴い、SNSによる誹謗や中傷、いじめなど子どもを巻き込む犯罪行為、また保護者の長時間利用に伴う、家族のコミュニケーション不足等が懸念される。 (前年度からの継続課題)</p>	<p>情報機器の利用やモラル、マナーに関する学習会の推進。</p>